

セーフティ プロモーション スクール 再認証申請書

Safety Promotion School Designation application

認証期間 令和8年6月2日～令和11年6月2日



丹波篠山市立古市小学校

Furuichi Elementary School

<令和7年度 SPSのとりくみ 目次>

| | | |
|---|-------|----|
| 学校概要 | | 1 |
| 本校沿革の概要(主に学校安全関係) | | 3 |
| セーフティ プロモーション スクールの 7つの指標 | | 5 |
| 指標1 | | 6 |
| 指標2 | | 7 |
| 指標3 | | 8 |
| 指標4 | | 9 |
| 指標5 | | 10 |
| 指標6 | | 11 |
| 指標7 | | 12 |
| 令和7年度安全の取組まとめ | | 13 |
| 資料:学校評価児童アンケート、保健室けがの来室状況、 避難訓練(児童の感想) | | 17 |

学校概要

- | | |
|----------|---|
| 1 学校名 | 丹波篠山市立古市小学校 |
| 2 所在地 | 兵庫県丹波篠山市波賀野新田74番地 |
| 3 郵便番号 | 669-2122 |
| 4 電話番号 | 079-595-0019 |
| 5 FAX 番号 | 079-595-0496 |
| 6 E-mail | el-furuichi@school.sasayama.jp |
| 7 HP | https://furuichi-el.sasayama.jp |
| 8 通学区域 | 丹波篠山市草野、古森、油井、不来坂、住山、古市、波賀野新田、見内、波賀野、当野、矢代新、南矢代、犬飼、初田、牛ヶ瀬、栗栖野 |
| 9 校長 | |
| 10 教頭 | |
| 11 主幹教諭 | |
| 12 連絡担当者 | 安全担当 |

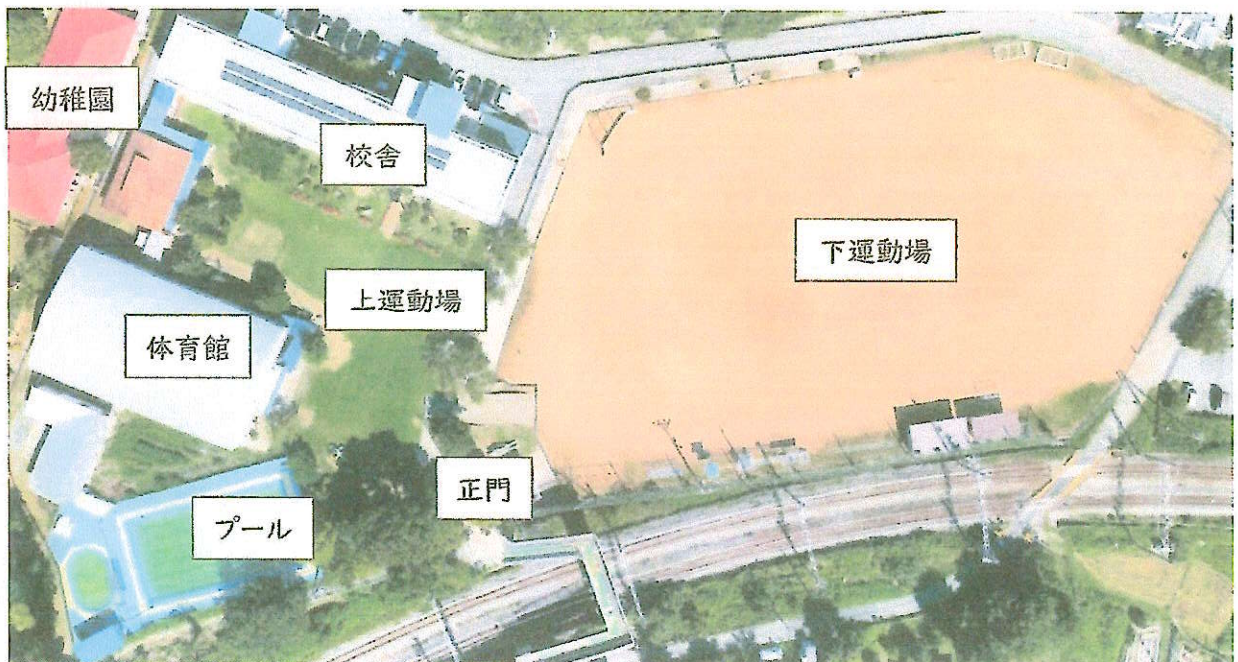
学校統計

- | | |
|----------|---------|
| 1 児童数 | 82名 |
| 2 在籍児童年齢 | 6歳~12歳 |
| 3 常勤教職員 | 11名 |
| 4 非常勤教職員 | 4名 |
| 5 校種 | 小学校(公立) |

校区周辺



施設配置図



本校沿革の概要(主に学校安全関係)

| | | | | |
|----|-----|-----|-----|--|
| 明治 | 6年 | 3月 | 5日 | 創立(大字油井村において) |
| | 20年 | | | 古市尋常小学校と改称 |
| | 33年 | 11月 | 25日 | 波賀野新田に新校舎落成 |
| | 43年 | 10月 | 2日 | 校舎増築落成(5教室、特別教室、職員室、応接室) |
| 大正 | 15年 | 5月 | 1日 | 講堂・校舎増築落成 |
| | 20年 | 2月 | 20日 | 新館より出火(午後6時50分) 19教室焼失 |
| 昭和 | 36年 | 1月 | 18日 | 現校舎改築落成 |
| | 40年 | 7月 | 10日 | プール完工 |
| | 45年 | 2月 | 28日 | 屋内体育館竣工落成 給食調理室及びプール脱衣場新築 |
| | 59年 | 4月 | 7日 | 幼稚園独立園舎建立 |
| 平成 | 7年 | 9日 | 30日 | 「幸橋」渡り初め式 |
| | 10年 | 8月 | | 本館及び体育館に火災報知器設置 |
| | 22年 | 6月 | 2日 | 学校管理下における児童転落死亡事故 始業前時間、児童下校時など学校管理体制の見直し 校内安全点検を月2回実施 「古市小学校・幼稚園職員誓いのことば」制定 学校安全に対する校内研修、先進校視察の実施 |
| | 23年 | 2月 | | 教職員、児童、PTA、地域による「安全マップ」づくり |
| | | 3月 | | 校舎耐震工事終了(22年7月より開始) |
| | | 6月 | 2日 | 「安全のつどい」、全学年で安全の授業参観日(毎年実施) |
| | 24年 | | | PTAによる学校周辺の通学路自動車通行自粛ピラ配布 |
| | 25年 | 6月 | | 上運動場芝生化 |
| | | 10月 | 2日 | 篠山市教育委員会指定「学校安全安心づくり事業」 安全教育研究会 |
| | 26年 | | | 教職員、PTA 合同の校内安全点検の実施(毎月初め) 年間2回のPTAによる校内安全点検 |
| | 27年 | | | 『語り継ぐために』をもとに着任した教職員対象の安全研修の 実施 |
| | | 10月 | 2日 | 篠山市教育委員会指定「学校安全安心づくり事業」 安全教育研究会 |
| | | 12月 | | 防犯カメラ設置 |
| | 28年 | | | 各学年における安全の授業の「10時間カリキュラム」作成 |
| | | 4月 | | JR職員による電車通学児童対象の安全指導 |
| | 29年 | 2月 | | 児童会によるインターネット使用宣言 |

| | | | |
|-----|-----|-----|--|
| | | | 安全の歌「今日の日を…」録音 |
| | 6月 | | 篠山市新任教員研修で安全教育の取り組みを紹介 |
| 30年 | 10月 | 11日 | 篠山市教育委員会指定「学校安全安心づくり事業」 安全教育研究会 |
| 令和 | 2年 | 3月 | 全国一斉臨時休校(~5月) |
| | 3年 | 11月 | 5日 丹波篠山市教育委員会指定「学校安全安心づくり事業」 安全教育研究会 |
| | 4年 | 2月 | 10日 職員研修「セーフティプロモーションスクールについて」 (講師:大阪教育大学 藤田大輔教授) |
| | | 3月 | セーフティプロモーションスクール認証支援校に登録 |
| | 5年 | 6月 | 5日 セーフティプロモーションスクール認証式を行う。 <認証期間 2023年6月2日~2026年6月2日> |
| | 5年 | 8月 | 全普通教室のドアの内鍵取り付け(不審者対策) |
| | 6年 | | 丹波篠山市教育委員会指定研究事業(自由研究) 研究テーマ「自ら追究し、楽しんで学び続ける児童の育成」 ~安全安心な学校づくりから、古市モデルの追究を通して~ |
| | 7年 | | 兵庫県教育委員会指定「学校防災体制推進校」 丹波篠山市教育委員会指定研究事業(自由研究) 研究テーマ「児童の自己安全管理能力を伸ばす授業づくり」 ~学校防災体制の趣旨を踏まえ古市モデルの確立をめざす~ 職員研修講師:京都女子大学 西岡伸紀教授 人と防災未来センター 南貴久先生 桃山学院大学 柴田真裕先生 |

セーフティ プロモーション スクールの7つの指標

指標1: 学校内に、学校安全に関わる活動の中核を担う「学校安全コーディネーター」等を設置し、その「学校安全コーディネーター」を中心とする学校安全推進のための委員会(以下「学校安全委員会」)が設置されている。

なお学校安全委員会は、「学校安全コーディネーター」のほか、校長・教頭等の学校管理職を含む教職員の代表、児童生徒の代表、PTA 代表、学校を管轄する地域の警察署・消防署の代表、学校のある地域自治会の代表、スクールガードリーダー等の学校ボランティアの代表等から構成されていることが望ましい。

指標2: 学校において、「生活安全」・「災害安全」・「交通安全」の分野ごとに、「安全教育」・「安全管理」・「安全連携」の領域(「3領域」と表記)の学校安全推進のための「中期目標・中期計画(3年間程度)」が立案されている。

指標3: 学校安全委員会において、「中期目標・中期計画」に基づいた学校独自の学校安全推進のための「年間計画」が策定されている。

指標4: 策定された「年間計画」に基づいて、学校安全委員会を中心に、学校関係者が参加して、学校安全推進のための活動が年間を通じて継続的に実践されている。

指標5: 学校安全委員会において、実践された学校安全推進に関わる活動の成果が定期的に報告され、それぞれ明確な根拠を基に活動に対する分析と評価が行われている。

指標6: 学校安全委員会における次年度の「年間計画」の策定にあたって、それまでの活動成果の分析と評価を参考に、当該校における学校安全に関わる実践課題の明確化と「年間計画」の改善が取り組まれている。

指標7: 学校安全推進に関わる活動の成果が、当該学校関係者に共有されるよう広報するとともに、「協働」の理念に基づいて、国内外の学校への積極的な活動成果の公開と新たな情報の収集に努めている。

指標1：丹波篠山市立古市小学校

セーフティプロモーションスクール推進委員会 委員

2025年度

| | 区分 | 役職 |
|----|-------|----------------|
| 1 | 教職員代表 | 学校長 |
| 2 | 教職員代表 | 教頭 |
| 3 | 保護者代表 | 古市小学校保護者代表 |
| 4 | 地区代表 | 古市校区学校運営協議会会長 |
| 5 | 地区代表 | 古市地区まちづくり協議会代表 |
| 6 | 地区代表 | 古市地区民生児童委員代表 |
| 7 | 警察関係者 | 古市駐在所 署員 |
| 8 | 消防関係者 | 古市地区消防団分団長 |
| 9 | 児童代表 | 児童会 会長 |
| 10 | 児童代表 | 児童会 安全担当 |
| 11 | 児童代表 | 環境委員会 委員長 |
| 12 | 児童代表 | 健康委員会 委員長 |
| 13 | 教職員代表 | 学校安全コーディネーター |
| 14 | 教職員代表 | 安全教育担当 |
| 15 | 教職員代表 | 安全点検担当 養護教諭 |
| 16 | 教職員代表 | 防災教育担当 |

| 分野 | 中期目標/中期計画 |
|--|--|
| 生活安全 ・外傷予防 ・犯罪予防 | <p>○危険個所の発見及び遊具等の施設及び設備の改善に努める。 →安全点検をデジタル化し、教職員への点検結果の公開や改善時期の短縮を図る。 →3年間で、校内で発生した外傷件数を10%削減する。</p> <p>○教職員、児童、保護者による校内安全点検を実施する。 →教職員による月2回の実施（うち1回は保護者や地域の参加を呼びかける）、環境委員会の児童による安全点検項目の見直し、オープンスクールにおける保護者による安全点検の実施。</p> <p>○教職員、児童、保護者が合同による地区内安全点検を行い、地区の危険個所や「子どもを守る家」等の確認を行う。 →実施後、教職員、児童による地区の安全マップを作成、確認を行う。</p> <p>○安全教育10時間カリキュラムによる生活安全の授業を実施する。 →6月2日「安全のつどい」開催日に生活安全、もしくは交通安全の授業を保護者参観とし、保護者とともに課題共有をはかる。</p> |
| 【重点領域】 災害安全 ・地震対策 ・土砂災害対策 ・風水雪害対策 ・火災予防 | <p>○教職員、児童による年間3回の避難訓練を実施する。 （火災、地震、土砂災害、不審者対応）</p> <p>○災害発生後に学校待機となった児童を、保護者が引き取りに来ることを想定した引き渡し訓練を実施し、災害時の動きに備える。</p> <p>○地震等の自然災害についての正しい知識や適切な判断力を身につけるために、安全教育10時間カリキュラムによる災害安全の授業や防災検定を実施する。 →1月17日「メモリアル集会」開催日に災害安全の授業を保護者参観とし、保護者とともに課題共有をはかる。</p> <p>○消防署や警察署など関係機関と連携した研修や避難訓練を行う。 →篠山警察署、丹波篠山市消防本部、古市消防団との連携</p> |
| 交通安全 ・被害予防 ・加害予防 | <p>○登下校時の安全対策を図る。 →道幅の狭い通学路の自動車通行自粛を呼びかける。 →毎日の登校指導、月1回の下校指導体制を確立し、実施する。</p> <p>○交通安全教室（歩行、自転車）を実施する。 →関係機関との連携を図る。</p> <p>○安全教育10時間カリキュラムによる交通安全の授業を実施する。 →6月2日「安全のつどい」開催日に生活安全、もしくは交通安全の授業を保護者参観とし、保護者とともに課題共有をはかる。</p> |

令和7年度 SPS指標3 丹波篠山市立古市小学校

| 分野 | 領域 | 指標3：計画 |
|------------------|----------------|--|
| 生活安全 | 安全教育 | ○児童の安全に生きるための意欲や実践的なスキルを高めるため、安全教育10時間カリキュラムによる生活安全の授業を実施する。 ○全校生に向け、安全指導を計画する。 |
| | 安全管理 | ○危険個所の発見及び遊具等の施設及び設備の改善に努める。 ○教職員、児童、保護者による校内安全点検を実施する。 ○教職員、児童、保護者が合同でによる地区内安全点検を行い、地区の危険個所や「子どもを守る家」等の確認を行う。 |
| | 安全連携 (組織活動) | ○各学年の生活指導上の課題を教職員全体で共有する。 ○関係機関と連携し、職員研修を行う。 |
| 災害安全 【重点指導領域】 | 安全教育 | ○地震、火災、土砂災害の避難訓練を計画的に実施し、児童の防災スキルを高める。 ○児童の災害時における実践的なスキルや適切な判断力を高めるため、安全教育10時間カリキュラムによる災害安全の授業を実施する。 ○校外児童会や縦割り班活動等で、災害時における高学年のリーダーシップを育む。 |
| | 安全管理 | ○消防計画や防災組織を基本とし、状況に応じて教職員がそれぞれの役割を果たす。 ○災害時における保護者への連絡体制、引き渡し体制を確実なものにする。 ○教職員、児童、保護者が合同による地区内安全点検を行い、災害時の登下校における各地区の課題を共有しておく。 |
| | 安全連携 (組織活動) | ○市民救命講習を実施し、教職員の救命救急スキルを高める。 ○警察署、消防署、消防団等の関係機関と連携し、避難訓練や災害安全教室、職員研修を行う。 ○SPS推進委員会の場で、学校の取り組みに対する外部からの評価を受ける。 |
| 交通安全 | 安全教育 | ○児童の安全に生きるための意欲や実践的なスキルを高めるため、安全教育10時間カリキュラムによる交通安全の授業を実施する。 ○交通安全教室を計画する。(歩行、自転車走行) |
| | 安全管理 | ○教職員、児童、保護者が合同でによる地区内安全点検を行い、登下校や交通安全上の危険個所等の確認を行う。 ○車通りの多い個所には、月に1回の登校指導を行う。 ○月に1回、地区担当が当該地区の下校指導を行う。 |
| | 安全連携 (組織活動) | ○保護者や地域の協力を得て登下校の安全が確保できるように努める。 ○篠山警察、古市駐在所、JRと連携して、登下校の安全確保や交通安全教育を実施する。 |

令和7年度 SPS指標4 丹波篠山市立古市小学校

| 分野 | 領域 | 指標4：実践 |
|------------------|----------------|--|
| 生活安全 | 安全教育 | <p>○安全教育10時間カリキュラムによる生活安全の授業を実施した。（全学年実施）</p> <p>○全校生に向け、長期休業前、校外学習前など、計画的あるいは随時、安全指導を行った。</p> |
| | 安全管理 | <p>○安全点検におけるICTの活用を進め、教職員への点検結果の共有を図った。</p> <p>○教職員による校内安全点検を月2回実施（うち1回は保護者の参加を呼びかけた）、オープンスクールにおける保護者による安全点検の実施した。</p> <p>○地区内安全点検の結果をもとに、教職員、児童による地区の安全マップを作成し、全体交流を行った。（全校生参加 9月2日）</p> |
| | 安全連携 (組織活動) | <p>○各学年の生活指導上の課題を学団会議、職員会議、生活指導ファイル等を使って、教職員全体で共有した。</p> <p>○民生児童委員と教職員との懇談会を行った。</p> |
| 災害安全 【重点指導領域】 | 安全教育 | <p>○1月16日「メモリアル集会」開催日をオープンスクールとし、安全教育10時間カリキュラムによる災害安全の授業を実施した。また、「丹波地区安全のつどい」も同日に開催し、自衛隊車両の見学や起震車体験を行った。（全校生、保護者が参加。4時間）</p> <p>○児童と教職員が、地震（1月）や火災（4月）、土砂災害（10月）が発生したという想定で避難した。（全校生）</p> <p>○校外児童会と下校指導を毎月1回行い、地区ごとに安全に下校する体制を整えた。</p> |
| | 安全管理 | <p>○火災の予防や児童の安全確保のため、毎月の安全点検で消火設備等の点検を行った。</p> <p>○不害者、地震、火災、風水害等に対応するための危機管理マニュアルを作成し、役割分担を行った。</p> |
| | 安全連携 (組織活動) | <p>○学校安全アドバイザー、警察署、消防署、消防署等の関係機関と連携し、災害発生時の避難場所、避難方法等が適切であるかを、必要に応じて点検、検討してもらった。</p> |
| 交通安全 | 安全教育 | <p>○安全教育10時間カリキュラムによる交通安全の授業を実施した。</p> <p>○交通安全教室を実施した。歩行訓練（5月15日）全校生参加、自転車走行訓練（10月28日）3～6年生参加</p> |
| | 安全管理 | <p>○保護者、児童、教職員が合同で地区内の安全点検を行った。（夏季休業中）</p> <p>○車通りの多い箇所の登校指導を行った。（毎月15日）</p> <p>○国道古市のバス停には毎週金曜日、登校指導を行った。</p> <p>○校外児童会で登下校の様子を振り返り、必要に応じて下校指導を行った。（月1回全校生が校外児童会に参加）</p> |
| | 安全連携 (組織活動) | <p>○保護者、地域の方とともに、道幅のせまい古市駅前周辺における通学時の通行自粛を呼びかけた。</p> |

令和7年度 SPS指標5 丹波篠山市立古市小学校

| 分野 | 領域 | 指標5：評価 |
|------------------|----------------|---|
| 生活安全 | 安全教育 | <p>○安全教育10時間カリキュラムによる生活安全の授業実践をまとめた。</p> <p>○年間2回（5月、2月）、全校生に安全意識調査を実施し、児童の実態把握を行った。</p> |
| | 安全管理 | <p>○年間2回【7月(教職員のみ)、12月】、学校評価を実施し、教職員、保護者、児童に安全な学校づくりができているか、それぞれの結果から評価した。</p> |
| | 安全連携 (組織活動) | <p>○児童の問題行動などに対して関係機関と連携して対応した。</p> <p>○職員研修で警察や消防本部と連携して実施できた。</p> <p>○民生児童委員との懇談会の結果を、児童への指導や保護者への安全啓発に活かした。</p> |
| 災害安全 【重点指導領域】 | 安全教育 | <p>○校外児童会や下校指導を毎月1回ずつ、実施できた。</p> <p>○避難訓練までに、防災担当や各学級担任から避難訓練の具体的な方法について指導を行った。</p> |
| | 安全管理 | <p>○年間2回【7月(教職員のみ)、12月】学校評価を実施し、教職員、保護者、児童のいずれも安全な学校づくりができていているという項目において評価を受けた。</p> <p>○校内安全点検においては、消火器、AEDの点検や防災用井戸が使用できるかを毎月点検した。</p> |
| | 安全連携 (組織活動) | <p>○SPS推進委員会を2月にある児童会（委員会）活動の日に実施し、学校安全に関係する委員会や児童会のリーダーが出席した。学校の取組に対して、推進委員の方から評価していただいた。</p> |
| 交通安全 | 安全教育 | <p>○安全教育10時間カリキュラムによる交通安全の授業実践をまとめる。</p> <p>○交通安全教室実施後に教職員、児童等に評価を実施する。</p> |
| | 安全管理 | <p>○夏休みの地区安全点検は新しく赴任した教職員にとっても校区の危険箇所を知るよい機会となり、指導に生かすことができた。</p> |
| | 安全連携 (組織活動) | <p>○地域の方や駐在所の方から地域での児童の様子を教えていただき、それを安全教育に生かすことができた。</p> |

| 分野 | 領域 | 指標6：改善 |
|------------------|----------------|--|
| 生活安全 | 安全教育 | ○児童による校内安全点検の点検項目の見直しや啓発活動を行う。 |
| | 安全管理 | ○児童による校内安全点検の点検項目の見直しや啓発活動を行う。 ○学校評価の結果に基づいて、すぐに改善できるところは速やかに対応し、予算等が必要な場合は要求する。 |
| | 安全連携 (組織活動) | ○感染症対策をとりながら、地域や関係機関に学校行事の参加を呼びかけ、適宜児童の様子を共有し、学校の安全対策の充実を図る。 ○関係機関と連携し、職員研修の内容の改善を図る。 |
| 災害安全 【重点指導領域】 | 安全教育 | ○児童にとって意欲的、実践的な力につながる災害安全の授業になるように、安全教育10時間カリキュラムの見直しを行った。 ○学校評価の中で「安全意識調査」を実施し、その結果を安全教育に活用した。 |
| | 安全管理 | ○保護者に対して安全点検への参加を継続して啓発した。 ○安全点検や学校評価の結果に基づいて、すぐに改善できるところは速やかに対応し、予算等が必要な場合は要求する。 |
| | 安全連携 (組織活動) | ○関係機関と連携し、安全に関係する学校行事を計画した。 ○地域や関係機関に安全に関係する学校行事や職員研修の参加を呼びかけた。 |
| 交通安全 | 安全教育 | ○児童にとって意欲的、実践的な力につながる交通安全の授業になるように、安全教育10時間カリキュラムの見直しを行う。 ○交通安全教室の評価結果から、さらなる課題を見つけ、安全指導の改善に役立てる。 |
| | 安全管理 | ○登下校指導等で新たに発見した危険個所や事案について速やかに確認し、児童や保護者に知らせ、安全に通行できるよう連携を図る。 |
| | 安全連携 (組織活動) | ○駐在所、地域の見守りボランティア等に、学校のニーズを伝え、効果的な連携を図る。 |

令和7年度 SPS指標7 丹波篠山市立古市小学校

| 分野 | 領域 | 指標7：共有 |
|--------------|----------------|---|
| 生活安全 | 安全教育 | ○安全教育10時間カリキュラムによる生活安全の授業実践をまとめたものを教育委員会、次年度職員、SPS推進委員へ配付した。 ○学校ホームページで安全の取り組みについて掲載する。 |
| | 安全管理 | ○学校だより等で保護者による安全点検や学校評価の結果、改善点などについて知らせる。 ○学校ホームページで安全の取り組みについて掲載する。 |
| | 安全連携 (組織活動) | ○SPSの取組を学校運営協議会と連携し、推進する。 |
| 災害安全【重点指導領域】 | 安全教育 | ○安全教育10時間カリキュラムによる災害安全の授業実践をまとめたものを教育委員会、次年度職員、SPS推進委員へ配付した。 ○学校ホームページで安全の取り組みについて掲載した。 |
| | 安全管理 | ○学校だより等で保護者による安全点検や学校評価の結果、改善点などについて知らせた。 ○学校ホームページで安全の取り組みについて掲載した。 ○地区の安全点検では、登下校時の災害発生を想定し、保護者や児童、教職員で課題を共有した。 |
| | 安全連携 (組織活動) | ○学校運営協議会や学校保健安全委員会と連携し、SPSの取組を含め、安全の取組を共有、推進していくことを確認した。 |
| 交通安全 | 安全教育 | ○安全教育10時間カリキュラムによる交通安全の授業実践をまとめたものを教育委員会、次年度職員、SPS推進委員へ配付した。 ○学校ホームページで安全の取り組みについて掲載する。 |
| | 安全管理 | ○職員会議等で安全についての情報共有を行った。 |
| | 安全連携 (組織活動) | ○学校ホームページ等で、交通安全教室の実施など交通安全に係る情報提供を行った。 |

令和7年度 安全の取組まとめ

【児童の安全意識を高める取組】

(1) 安全のつどい(6月2日)



6月2日に安全のつどいを実施した。児童も教職員も安心・安全な学校づくりへの気持ちを心に刻んだ。

(4) 引き渡し訓練(5月)



体育館に全校生が集まって引き渡しをする際の児童、保護者それぞれの動線を確認した。

(2) 避難訓練 火災(4月)



火災を想定した避難訓練を実施した。新しい教室からの避難経路の確認ができた。

(5) 校内研究授業 安全の授業(5月)



校内の安全について、6年生がこれまでの学習を生かして、全校生に伝えたいことを主体的に考えた。

(3) 交通安全教室 歩行訓練(5月)



登校班に分かれ、交通旗の正しい出し方を練習したり、横断歩道の渡り方などを確認したりした。古市駐在所の辻本さん、交通安全指導員の酒井さんのご協力のもと、歩行訓練を行った。

(6) 安全の授業(6月)



安全のつどいと同日に安全の授業を実施した。オープンスクールとして、保護者や地域の方にも参観いただいた。

- | | |
|--------------------|----------|
| 1年：ゆうぐのせつめいしよをつくらう | |
| 2年：教室でのすごしかた | 3年：自転車点検 |
| 4年：雨の日の登下校 | 5年：けがの防止 |
| 6年：全校生に校内の安全を伝えよう | |

(7) 着衣泳(7月)



学年ごとに、小プールを使用して着衣泳を実施した。「浮いて待て」をキーワードに、ペットボトルで浮く練習や普段の服装で泳ぐ練習をした。

(8) 地区安全点検(夏休み)



PTA 主催の地区安全点検を夏休み期間中に実施した。安全に過ごすためのポイントを保護者・児童・教職員で共有できた。

(9) 安全マップ作成(9月)



夏休み中に実施した安全点検の結果をもとに、地区ごとの安全マップを作成した。

(10) 土砂災害避難訓練(10月)



土砂災害を想定した訓練を実施し、垂直避難の方法を確認した。その後人と防災未来センター南先生の講話を聞いた。

(11) 交通安全教室 自転車訓練(10月)



交通安全教室の自転車訓練を実施した。歩行訓練と同様に篠山警察署、古市駐在所の辻本さん、交通指導員の酒井さんにご協力いただいた。

(12) 3年生公衆電話教室(11月)



日本公衆電話会の方に来ていただき、電話の使い方を教わった。災害時の伝言ダイヤルの使用方法や、校外で何かあった際に、使用できるよう実践的に学んだ。

(13) 避難訓練(地震)



頭を守り、ガラスが割れていたり物が落ちていたりする箇所を回避しながら避難する訓練を行った。

(16) 丹波地域「ひょうご安全の日」のつどい(1月16日)



丹波県民局、丹波篠山市、消防本部、自衛隊、防災士会、EARTH(学校防災支援チーム)など多くの関係機関と連携し、命の大切さや防災の知識を学んだ。

(14) メモリアル集会(1月16日)



黙禱や「幸せはこべるように」の歌を歌った。EARTH隊員から震災当時の話を聞き、災害について理解を深めた。

(17) 児童による安全点検



環境委員会が前期に1週間、後期に1週間の安全点検を実施した。

(15) 防災安全の授業(1月16日)



各学年で震災や災害時の身の守り方等について授業を行った。オープンスクールとして実施し、保護者にも参観いただいた。

【安全な環境を作る取組】

(17) 緊急時対応訓練



緊急対応に必要な物品の場所の確認をしながら、想定した場面に対応する訓練を実施した。

(18) 緊急時対応訓練②



体育の授業中、児童が鉄棒から落下し、頭部を打った事態を想定し、シミュレーション研修を行った。アクションカードを使うことで迅速に役割分担や救命行動を行うことができた。

(19) 防犯ブザーチェック



月に一度、木曜日の全校終会の時に、防犯ブザーが正常に機能しているか、確認をした。音を鳴らしたり、笛を吹いたりして児童自身がチェックをしている。

(20) 登校指導



月に1度、児童の登校を見守る日を設定して、踏切や交差点を中心に登校指導を実施した。

バス通学の児童は毎週金曜日の朝に国道の横断を見守った。

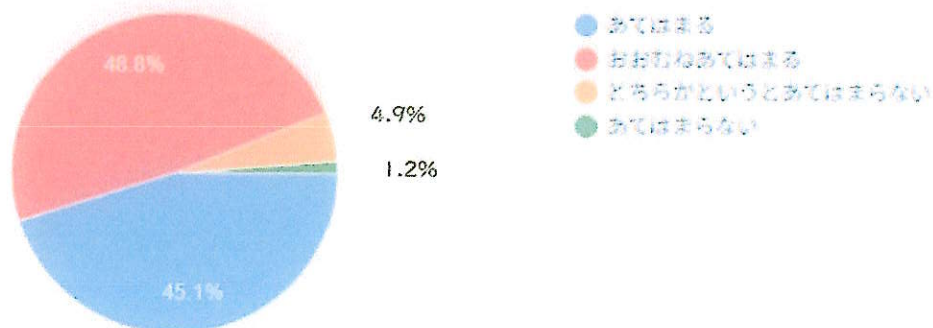
(22) 安全の花壇の見守り



古市小学校の安全の原点として、教職員や児童が安全の花壇を見守っている。花を植え替えたり、清掃したりすることで、安全・安心な学校園づくりに向け、意識を高めている。

【資料1】「令和7年度 学校評価(児童用)アンケート」 ★安全にかかわる質問

＜設問＞ろうかを歩くときのルールを守る、遊具を正しくつかうなど、安全な生活をしている。



【資料2】保健室 けがの来室状況(1,2学期分)

| けが名 | 擦過傷 | 打撲 | 捻挫 | 突き指 | 関節・筋 | 切傷 | 刺傷(と) | 外傷性水 | 虫刺され | 鼻出血 | 皮膚の痒み・ | 目の異常 | 熱傷 | 以前のケ | その他 | 合計 | 在籍者数 |
|-----|-----|-----|----|-----|------|----|-------|------|------|-----|--------|------|----|------|-----|-----|------|
| R4 | 80 | 108 | 8 | 16 | 40 | 10 | 8 | 5 | 42 | 11 | 13 | 9 | 7 | 13 | 14 | 384 | 95 |
| R5 | 79 | 90 | 15 | 22 | 42 | 14 | 13 | 8 | 32 | 22 | 18 | 6 | 8 | 11 | 11 | 391 | 95 |
| R6 | 60 | 103 | 12 | 16 | 57 | 2 | 11 | 7 | 25 | 21 | 9 | 6 | 6 | 14 | 9 | 358 | 81 |
| R7 | 46 | 58 | 11 | 8 | 44 | 16 | 9 | 2 | 45 | 16 | 8 | 10 | 3 | 2 | 8 | 286 | 82 |

| 場所 | 教室 | 特別教室 | 廊下階段 | 運動場 | 上運動場 | 遊具 | 体育館 | 下駄箱周 | 阪神・淡路大震災 時 運動場への 階段 | プール | 通学路 | 学校管理 | 不明 | その他 |
|----|----|------|------|-----|------|----|-----|------|------------------------------|-----|-----|------|----|-----|
| R4 | 68 | 11 | 15 | 29 | 30 | 16 | 46 | 7 | 7 | 1 | 8 | 77 | 29 | 11 |
| R5 | 70 | 16 | 16 | 42 | 24 | 17 | 70 | 3 | 4 | 4 | 11 | 57 | 20 | 22 |
| R6 | 99 | 10 | 6 | 46 | 7 | 22 | 55 | 7 | 0 | 1 | 9 | 48 | 21 | 15 |
| R7 | 56 | 15 | 12 | 30 | 14 | 18 | 33 | 2 | 2 | 2 | 11 | 56 | 25 | 9 |

【資料3】避難訓練、防災体験活動のふり返り(児童の感想)

①10月 土砂災害を想定した避難訓練

- ・古市小学校は隣が山で土砂崩れになったときに、とても危険なので気をつけようと思いました。
- ・横じゃなくて上に逃げるのを初めて知りました。3階に行くまでにぞうきんやほうきが落ちているかもしれないから足元を見て行こうと思いました。
- ・土砂とか地震とかそれぞれの災害に応じて避難場所が違うから、どこに逃げたらいいわかりました。

②1月 地震を想定した避難訓練

- ・ガラスや落下物を避けて頭を守って避難できました。
- ・地震の怖さと準備の大事さが分かった。自分や家族の命を守れるようにしたい。
- ・避難訓練は何回もしてるけど、やっぱり何回聞いても警報の音が怖かったです。地震がもしも起こってしまったときのために、やっぱり避難訓練はちゃんとやった方が良く改めて感じました。

③1月 防災体験活動

- ・起震車体験では、阪神・淡路大震災と東日本大震災の揺れを体験して、地震がいつ起こるかわからない怖さを実感しました。
- ・自衛隊の人たちがいろんなことをしてくれたことがありがたいなと思いました。500人分のお味噌汁を作ったと聞いて凄いなと思いました。